

同窓会報

第 45 号



奈良県立医科大学医学科同窓会

目次

会長挨拶	会長	高岡 孝一	2
恩師よりのメッセージ「ハーバーの教科書雑感」	名誉教授	神谷 知備	3
表紙絵の解説「明日香の熊野(ゆや)」	学長	下里 直行	4
平成十八年 総会 学長祝辞		吉田 修	5
平成十八年 総会 記念講演会			
「アスベストの健康障害」―職場と環境―	教授	車谷 典男	6
平成十八年 定例代議員会・通常総会	副会長	山本 公弘	10
平成十七年度 一般会計・特別会計収支決算書			14
平成十八年度 一般会計・特別会計収支予算案			17
「やはり大学同窓会も捨てたものじゃないな」と思いました」			
～同窓会副会長として初めての総会に臨んで～			
43会 in 鎌倉	副会長	小味 洵智雄	19
同窓生の勤める医療機関紹介「市立松原病院」	院長	北村 弥	20
教授に就任して		桑田 博文	21
北海道大学病院リハビリテーション科	教授	生駒 一憲	24
教授に就任して		篠 義人	25
教授に就任して 先端医学研究機構			
教室紹介 「寄生虫学教室」	生命システム医科学分野	教授	坪井 昭夫
		教授	石坂 重昭
		教授	三笠 桂一
平成十八年度 「感染症センター」			
第58回西医体を終えて・成績報告	医学科5年	三浦 晋	33
	体育会会長	南原 幹男	34
堀 浩先生の死を悼んで	教授	楠 寿右	36
堀 浩先生の御略歴			38
濱田信夫名誉教授を偲ぶ		大石 元	39
足立登先生五條市育英会へ資金寄付・事務局からお願い			41
同窓会だより・同窓会代議員ご氏名			42
理事会だより・物故者			43

編集後記

予定通り運べば、来年四月一日から独立行政法人となるため、本号が奈良県立医科大学としては最後の同窓会報になります。独立法人化しても公立大学独立行政法人という冠がつくだけで、奈良県立医科大学という基本的な名称は同じです。しかし、基本的には独立採算が求められることになり、病院経営が行き詰まり、学生の集まりも悪くなれば、縮小再生産の悪循環に陥り、身売りか廃校かという可能性も論理的には否定できなくなりました。今まで以上に大学と連携を密にし、強力で支援していく必要性が出てきたといえます。その点でも学内外の情報を的確に伝える本会報の役割は小さいながらも貴重な存在と考えますし、もっと重宝されるようにしていかなければならないと思ってもいます。独立行政法人化を機会に、同窓会報の表紙の題字を従来から決定されていた「厳糧」に変更すべく準備中です。「厳糧(いつかし)」は「同窓会館」の愛称でもあります。それにして、年二回の会報作成と郵送作業はなかなか大変なものです。最後になりましたが、今回の素晴らしい表紙写真は下里直行先生から送っていただきました。新年を彷彿とさせます。来年も同窓会および同窓会員にとっていい年でありまますように。

題字・元大学々長 増 原 建 二
[車谷 典男]

平成十八年十二月二十日発行 通巻第四十五号
 発行所 〒634-8521 奈良県橿原市四条町八四〇
 奈良県立医科大学医学科同窓会
 電話(〇七四四)二五―三六一
 FAX(〇七四四)二二―九八八
 会 長 高 岡 孝 一
 副会長 車 谷 典 男
 印刷所 〒630-8013 奈良市三条大路二丁目二一六
 共同精版印刷株式会社
 電話(〇七四二)三三―二二二
 FAX(〇七四二)三三―七〇三五